



登録文化財保存活用シンポジウム（第2回）

「登録文化財の防災・減災対策—能登半島地震の教訓を踏まえて」

参加費
無料

今年度2回目のシンポジウムは、所有者のみなさんの関心の高い防災・減災対策をテーマに開催します。能登半島地震では耐震改修された文化財に大きな被害が発生し、衝撃を与えました。実態について現地に詳しい研究者と実務者の方からお話を伺い、日頃からどう備えておけばよいのかを考える場にできればと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

◆日時 2026年1月20日（火）14:00～17:00

◆会場 愛知県立大学サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター（ウィंकあいち15階）

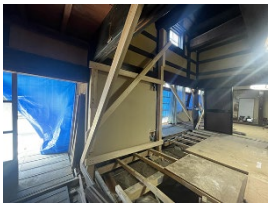
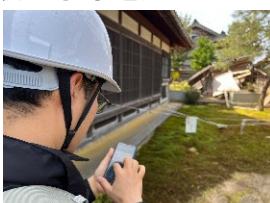
◆参加費無料 募集定員40名（先着順）

※会場の定員に達して以降はオンラインでの参加をお願いします。

オンライン参加申込の方には前日までにZoom接続のご案内を送信します。

オンライン
併用開催

◆プログラム

開催時間	講師・内容
14:05～ 14:55	地震で被災した歴史的まちなみの復旧における課題～輪島市黒島地区の復旧支援活動を通して～ 講師：西川英佑氏（関西大学 環境都市工学部 建築学科 助教） 能登半島地震で被災した輪島市黒島地区において、建築構造学研究者の有志で地震直後から行ってきた復旧支援活動をもとに、被害要因を分析するための調査の方法、被災建物の安全性を確保する応急補強の事例、構造健全性回復や耐震性能向上を実現するために必要な補強計画などを紹介する。 
14:55～ 15:45 (休憩)	歴史的建造物の災害と復旧—能登半島地震文化財ドクター派遣事業を通して— 講師：由田徹氏（株式会社ユウプラス 代表取締役・歴史的建造物修復士） 能登半島地震の発災後の文化財ドクター派遣事業を通して、被害状況と文化財ドクターの活動の実際をご紹介します。第一線の活動を通じた知見をもとに、歴史的建造物の災害と復旧について、今後の課題と展望について報告する。 
16:00～ 17:00	意見交換 愛知登文会小栗名誉会長をコーディネーターとして、参加者の皆さんも交えて意見交換を行います。

◆参加方法

以下の申込フォームより、1月18日（日）24時までにお申し込みください。

<https://forms.gle/nmJ7ysDNxGLNgRWHA>

右のQRコードからも申込が可能です。



メールでの申込も受付します。以下を記載の上、contact@aichi-tobunkai.org まで

- ①氏名
- ②メールアドレス
- ③会員種別：正会員、特別会員、賛助会員、その他
- ④申込区分：会場参加（定員に達した場合、会場参加希望する・しない）、オンライン参加

愛知登文会事務局 川原田家住宅内

E-mail contact@aichi-tobunkai.org

ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>

◇主催

愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

◇助成

令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金
「地域文化財総合活用推進事業」

